

議 事 の 経 過

【実施日】令和4年10月7日（金）

【開催概要】書面審議による

【出席者】委員13名中13名

【議 事】

- (1) 坂戸市障害者計画等実施状況（令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画）について（資料1～資料3）
- (2) その他

【配布資料】

資料1… 障害者計画等に係る事業の進捗状況について

資料2… 【第6期坂戸市障害者計画】障害福祉サービス実績

資料3… 【第6期坂戸市障害者計画】令和4年度事業計画、令和3年度事業実績

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>1 議 事</p> <p><u>議題（1） 坂戸市障害者計画等実施状況（令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画）について</u></p> <p>○資料番号1</p> <p>【基本目標1の割合について】</p> <p>基本目標1のC、Dの割合が36%になっているが、35%ではないですか。</p> <p>小数点以下を四捨五入で表示しているため、必ずしも数値が一致しておりません。今後はわかりやすい表記に改めてまいります。</p> <p>【基本目標4【就労への支援】について】</p> <p>障害のある人が社会で自立し、生きがいを持つには就労の果たす意味は大きい。障害者福祉課が中心となり、関係機関と連携して評価A、Bが100%となったことは素晴らしいと思う。</p> <p>障害のある方が、就労を通して社会的に自立し、生きがいのある生活を行っていくことは重要であると認識しております。</p> <p>就労に関しましては、障害福祉サービスである訓練等給付による就労継続支援や就労移行支援等の支給決定を行う他、坂戸市障害者就労支援センターにおいて、個別相談や企業等の関係機関と連携し支援を行っております。</p> <p>今後も障害のある方が、安心して就労活動を行えるよう、丁寧な</p>

	<p>支援を行っていくよう努めてまいります。</p> <p>○資料番号2</p> <p><b>【(3)通所施設等日中活動系サービス ③短期入所について】</b></p> <p>重度自閉症児で短期入所を希望しても受け入れ施設が少ないため、また施設見学等、利用するまで時間がかかり、兄弟など家族（同居人）がいると利用できない。グループホームなど重度身障児は利用できないとも言われ、親が何かあった時、周りにおいていけない子どもの受け入れも重要、特に一人親家庭では喫緊の課題です。（坂戸市はこのため受け入れ先がないとき、他市に任せている）また、医療的ケアの子どもさんにも必要です。家族などが息抜き出来るためにも気軽に利用できる施設がほしいとの声があり、ショートステイの対応を検討する必要があります。</p>
事務局	<p>障害者の短期入所につきましては、個々の状況を勘案した調査結果を、障害支援区分認定審査会にお諮りし、その決定に基づき、実情に応じたサービスを利用していただけよう支援体制の構築に努めております。</p> <p>また、障害児については養護者の負担を緩和するため、申請者の希望に応じ個々の状況を勘案した短期入所の支給決定を行っておりますが、重度心身障害児や医療的ケア児の受け入れは看護師等医療従事者の配置が必要であるため、要望が定数を上回っている状況が見られております。</p> <p>今後も国県等の動向を注視し、受入施設の確保等の対応を進めてまいります。</p>
委員	<p><b>【(6)障害児支援について】</b></p> <p>以前、子供が障害や発達障害があることを親として認めたくないとの思いが強く、早期に医療を開始できない子供がいると聞きましたが、現在はどのような状況でしょうか？</p> <p>※子供の障害を隠して入園し、園が対応に困っていたと聞いています。</p> <p>※近年、発達障害の子供が増えているとも聞いていますが、実状はどうでしょうか？</p>
事務局	<p>保護者の障害や発達障害の受容については、市民健康センターや子ども支援課等関係部署において、相談を通し支援を行っているところでございますが、個々の状況により受容の困難な事例も散見しております。</p> <p>発達障害の児童の増加については、発生率が増加しているというよりも、早期診断が可能になったことによる影響が考えられます。</p>

委員	<p>【(6)障害児支援について】</p> <p>共働きする家庭が増加傾向にあり、将来の社会生活における重要なサービスと感じており、必要に応じた提供ができるよう整備を願いたい。</p>
事務局	<p>障害児支援につきましては、児童発達支援、放課後等デイサービスの市内事業所が年々増加しており、令和4年10月現在で20事業所が開設しております。</p> <p>医療型児童発達支援、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援については支給実績がまだないため、今後適切な利用が行われるよう支援を進めてまいります。</p>
委員	<p>【(6)障害児支援 ①児童発達支援について】</p> <p>実績及び見込みのR2年495人からR3年695人に急増している。この原因は何か。対応は適切か。各種施策に影響がでていないか検討が必要です。</p>
事務局	<p>児童発達支援の利用実績が令和2年度から令和3年度に大幅に増加した要因として新型コロナウイルスの感染拡大の影響が考えられます。</p> <p>また、利用を希望する児童も増加しておりますが、市内の新規障害児通所支援事業所の開設が毎年あり、受皿も拡充されております。</p>
委員	<p>【(6)障害児支援 ①児童発達支援について】</p> <p>児童発達支援では平成30年度から令和3年度まで利用実績は順調に増加しているが、令和4年の見込量は令和3年と比較すると人数で11人、回数が109回下がっています。減少の適切な理由はあるのですか。</p>
事務局	<p>令和4年度の見込数は令和2年度の計画策定時に想定された数値であり、令和3年度の実績が既にそれを上回っており、当初の試算を超える伸び率になっております。</p> <p>よって、令和4年度の実績も見込量を大幅に上回ることが予想されます。</p>
委員	<p>【(6)障害児支援 ③放課後等デイサービス ⑥障害児相談支援について】</p> <p>上記より、児童発達支援で令和3年実績から令和4年見込で大幅な減少を想定されておりますが、他に放課後等デイサービス、障害児相談支援など児童系で令和3年実績から令和4年見込で大きく減少を見</p>

事務局	<p>込んでいるのは、児童数の減少など適切な理由があるのでしょうか。</p> <p>令和4年度の見込数は令和2年度の計画策定時に想定された数値であり、令和3年度の実績が既にそれを上回っており、当初の試算を超える伸び率になっております。</p> <p>よって、令和4年度の実績も見込量を大幅に上回ることが予想されます。</p>
委員	<p><b>【(6)障害児支援 ③放課後等デイサービスについて】</b></p> <p>放課後等デイサービスを利用する障害児が年々増えてきています。放課後等デイサービス施設を卒業した障害児は替わりになる居場所がないため非常に困っていることが現状です。居場所づくりなど今後の対応が必要です。</p>
事務局	<p>放課後等デイサービスは18歳までの児童を対象としており、卒業後は就労移行支援や障害者雇用や就労継続支援による就労、生活介護等の日中活動に移行される方が大多数を占めておりますが、個々の状況に応じた居場所を確保できるようきめ細やかな支援を行ってまいります。</p>
委員	<p><b>【(6)障害児支援 ③放課後等デイサービスについて】</b></p> <p>今年度も何箇所か、新しい事業所が新規開所している。市内のデイサービスが充実している中で、あまり良くない噂を耳にすることがある。市の方で定期的に視察を行ってほしい。書類上でわからない部分もあると思う。</p>
事務局	<p>令和3年度より連携体制の構築と支援の質の向上のため、障害児通所支援事業所部会が発足しており、定期的に情報交換を行っております。</p> <p>今後は顔の見える関係づくりを進め、引き続き個々の児童の状況に応じた療育の実施を目標に事業を展開してまいります。</p>
委員	<p><b>【(6)障害児支援 ④保育所等訪問支援について】</b></p> <p>この事業の利用促進は保育士の質の向上、保育内容の向上のためにも利用を促進すべきです。この制度は保護者から申請することになっていることから保育所側から保護者へのアプローチが必要です。実績ゼロはこの事業の内容が周知されていないのではないかとと思われる。このため利用する側の工夫が必要で検討をしてほしい。</p>
事務局	<p>本市におきましては保育園、幼稚園等に専門職による巡回指導を</p>

	<p>実施しており、保育所等訪問支援と同様の効果が見られております。</p> <p>今後は保育所等訪問支援の実施事業所が増加していることもあるため、それぞれの事業の対象や頻度等の特徴を踏まえ、事業を進めてまいります。</p>
委員	<p><b>【(7)地域生活支援事業 ⑥日常生活用具給付等事業について】</b></p> <p>⑥日常生活用具等の日常生活用具とはどのような物ですか。</p>
事務局	<p>日常生活を営むのに支障のある在宅の障害児等の日常生活を容易にするための用具であり、障害の特性に応じ、特殊寝台（ベッド）、電気式丹吸引器、ストマ用具等幅広い品目を対象としています。</p>
委員	<p>○資料番号3</p> <p><b>【P. 2 事業番号9 グループホームの整備促進について】</b></p> <p>市内に設置されているグループホームの数が少ないと思う。人口減少とともに懸念される高齢化もあり、今後のグループホームの設置をお願いしたい。</p>
事務局	<p>グループホームについては年々新規事業所が開設しており、令和4年10月現在23事業所が運営されております。</p> <p>今後も利用希望者の動向を注視し、新規開設を希望する事業所と調整を進めてまいります。</p>
委員	<p><b>【P. 3 (2) 精神障害者・難病患者等への支援について】</b></p> <p>重度の障害者手帳所持者で障害や病気を原因として、常時失禁または寝たきりの状態の方はおむつの購入費など経済的に大きな支出で困っていると要望があり、障害者（児）の実態（おむつや尿取りパット利用者）を調査し、重度心身障がい者（児）紙おむつ等支給事業を開始することを要望します。</p>
事務局	<p>日常生活用具における紙おむつ等の支給については令和4年9月に、重度心身障害児を早期から支給対象とするために基準を見直し、対象者の一部拡大を行ったところでございます。</p> <p>今後も実情に応じた制度設計を行うため随時変更について検討を行ってまいります。</p>
委員	<p><b>【P. 7 事業番号28 障害者団体、家族会等への支援について】</b></p> <p>障害児連絡会の追加。</p> <p>学童保育、保育園、幼稚園、放課後等デイサービス等の施設職員、及び当該保護者などで障害児をめぐる話を行う連絡会の設置で障害</p>

事務局	<p>児保育の充実を図ること。</p> <p>令和3年度より連携体制の構築と支援の質の向上のため、障害児通所支援事業所部会が発足しており、定期的に情報交換を行っております。</p> <p>今後は課題の1つとして関係機関との連携が挙げられており、順次部会において検討を進めていくことを予定しております。</p>
委員	<p><b>【P. 10 事業番号40 就職面接会の充実について】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため多くの事業が中止となったのは大変残念である。コロナ禍で開催しない代替として市内の障害者の方へ市広報を利用するなどの工夫が見られたのは良い。(No.73 も同様にコロナ禍の対応として、DVDを配布するなど工夫している。)</p>
事務局	<p><b>【商工労政課】</b></p> <p>令和4年度は9月27日にウエスタ川越で21社の事業所、100名の求職者が参加し面接会が開催されました。今後も引き続き雇用の場の拡大に努めてまいります。</p> <p><b>【障害者福祉課】</b></p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じ、ハローワーク川越障害者就職面接会を共催で実施しました。</p> <p>流行状況を中止しつつ、With コロナを前提とした事業実施を今後も検討してまいります。</p>
委員	<p><b>【P. 13 事業番号48 保育園、幼稚園の充実について】</b></p> <p>子どもは未来の坂戸市を担う宝です。障害のある子どもにはその特性に応じた教育を行うことにより、本人の能力を伸ばし生きる力をつけるように支援していくことが大切です。今後も支援員を増員し、充実した保育をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【保育課】</b></p> <p>障害のある児童に対し、心身発達の特性に応じた保育を安定的に実施できるよう、今後も支援体制を整えてまいります。</p> <p><b>【教育総務課】</b></p> <p>末広幼稚園における特別支援職員等採用事業は、令和5年3月の幼稚園の閉園に伴い今年度をもって終了しますが、引き続き、特別な支援を必要とする園児を受け入れている私立幼稚園に対する支援を行うなど、関係機関と連携して、支援を必要とする乳幼児の就園支援の充実を図ります。</p>

委員	<p>【P. 13 事業番号50 通常学級における配慮を有する児童生徒への支援について】</p> <p>以前、学校支援員は、週4日の勤務だったと聞いている。今の週3日の勤務では支援が足りない。結果、授業の中断等教職員の負担が増えてしまう。なぜ勤務日数を減らしてしまったのか？</p>
事務局	<p>支援員1人当たりの勤務日数を減らす代わりに人数を確保することによって、各学校での勤務の割振りを容易にしました。</p>
委員	<p>【P. 13 事業番号51 支援籍における学習の充実について】</p> <p>特別支援学校からの申し入れで行われている支援籍であるが実施の件数が年々減ってきている。コロナの影響もあると思われるが、本来の事業の目的や実用性について疑問が持たれる。</p>
事務局	<p>令和3年度は、特別支援学校からの申し入れで行われている支援籍は、小学校1校（3名）で実施しました。このほかに、コロナ感染拡大防止のため、予定していたものが中止となったケースがありました。</p> <p>支援籍による効果としては、地域の友達としての認識が持てたり、長い目で見たときの地域のつながりに期待ができたりします。</p> <p>今後も特別支援学校と連携を図りながら積極的に取り組んでまいります。</p>
委員	<p>【P. 13 事業番号52 特別支援学級、通級指導教室の充実】</p> <p>（保護者の意見）それぞれの特性にあった支援が必要と感じる。勉強も大事だと思うが、社会性や個性を生かしていけるような支援も必要と感じている。</p>
事務局	<p>令和4年度4月の段階で、すべての小中学校に特別支援学級（知的障害学級・自閉情緒障害学級）が設置されています。支援学級では、本人の特性に応じた教育計画を学校と保護者が話し合って立て、本人の特性に応じ、今後の生活等で必要と考えられる内容を計画的に取り入れています。</p>
委員	<p>【令和4年度以降の事業について】</p> <p>令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルスの影響でイベント、交流会などが中止となっています。令和4年度以降は新型コロナウイルスの影響を考えながらどのようにして実施していく予定ですか。</p>

事務局	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じ、イベント等の実施を進めてまいります。</p> <p>流行状況を注視しつつ、With コロナを前提とした事業実施を今後とも検討してまいります。</p>
委員	<p>○その他</p> <p>【「坂戸市障害者計画・坂戸市障害福祉計画（第6期）・坂戸市障害児福祉計画（第2期）」 P. 55 ⑤障害児支援の提供体制の整備等】</p> <p>発達支援センターの設置数の目標値が1で令和5年（2023年度末）の児童発達支援センターの設置数が計画されています。どのような計画で実現を検討されていますか。児童発達支援が必要な未就学児が増加しています。関係者の期待が大きいです。</p>
事務局	<p>児童発達支援センターは令和元年に1か所開設しており、今後は障害児通所支援部会等において市内事業所等関係機関と連携し支援体制の構築を進めてまいります。</p>
委員	<p>【市の支援について】</p> <p>聴覚障害のある息子が高校受験を控えているが、受験を考えていた私立高校より「受け入れができない」という話があり、本人も親もメンタルが落ちている。障害を理由に、受験を断られてしまうのは悲しい。聴覚障害に限らず、同じような思いをこれからのお子さんがされないように、市で支援してもらいたい。例えば、手話通訳者の派遣にあたり、補助金を出す、など。</p>
事務局	<p>障害者差別解消法において、正当な理由なく障害を理由として差別することは禁止されているとともに、民間事業者は合理的配慮を提供することに努めることとされており、また、過重な負担で対応が困難な場合については、その理由を説明し、理解を得るよう努めることが望ましいとされており、</p> <p>市においては、障害者及びその家族等からの障害を理由とする差別に関する相談に応じ、関係機関と連携のうえ、民間事業者において合理的配慮が提供されるよう努めてまいります。また、障害者週間等において障害のある方への理解を促進する取組を進めてまいります。</p> <p><u>議題（3）その他</u></p> <p>次回の審議会開催日程（予定） 令和4年1月～2月頃を予定しています。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>